

平成19年度 第2回府中市防災会議 会議録（要旨）

- 1 開催日時 平成19年10月24日（水）午後1時30分～午後2時
- 2 開催場所 府中市役所北庁舎第3会議室
- 3 出席委員 野口忠直会長 塩田利男委員 友松栄二委員 中島信一委員
田中健司委員 新海功委員 原拓二委員 竹内健祐委員
星良幸委員 矢ヶ崎一幸委員 松本三喜夫委員 大野明委員
久保謙治委員 市村近夫委員 横田実委員 齋藤清委員
金子広文委員 梅影忠二委員 有田健二委員
- 4 代理出席 東京都北多摩南部建設事務所副所長 警視庁府中警察署警備課
長 東京電力(株)多摩支店武蔵野副支社長
- 5 欠席委員 三浦徳之委員 田口俊夫委員 杉田廣己委員
- 6 事務局 石阪防災課長 萩原防災課長補佐 大木主任 山田作業員
長谷川事務職員
- 7 議 事 (1) 審議事項
府中市地域防災計画(平成19年度修正)の素案について
今後のスケジュールについて
(2) その他
- 8 公開・非公開の別
公開(傍聴者の数 0人)

会議内容（要旨）

萩原補佐 大変お待たせいたしました。定刻となりましたので、ただ今から平成19年度第2回府中市防災会議を開催させていただきます。

まずはじめに、本会議の会長であります野口市長よりごあいさつを申し上げます。会長よろしくお願いたします。

野口会長 本日は大変お忙しいところ、府中市防災会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。皆様には日頃より本市の防災行政をはじめといたしまして、市政全般にわたりご理解とご協力を賜っております。この場をお借りいたしまして厚くお礼申し上げます。

今回は、7月26日に開催いたしました第1回府中市防災会議においてご了承いただきました府中市地域防災計画修正の基本的な考え方にに基づき、素案を作成いたしました。

後程事務局より、この素案につきましてご説明を申し上げ、委員の皆様にご意見、ご審議をいただきたいと考えております。

また、この素案につきましては11月1日より市民に公表いたしまして、意見等を広く募集して参ります。多くのご意見を頂戴した後、東京都と協議を終えた後、委員の皆様にご審議を頂きまして「府中市地域防災計画」を作成した

いと考えております。

皆様方におかれましては、どうぞ、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申しあげまして、ご挨拶とさせていただきます。

萩原補佐 続きまして、委員の交代がございましたので、ご報告いたします。日本郵政公社武蔵府中郵便局の局長さんに委員をお願いしていましたが、民営化に伴い公社が分割され、災害対策基本法に基づく指定公共機関の扱いが郵便事業株式会社と郵便局株式会社の2社になりました。ここで新たに委員に委嘱させていただきました方をご紹介させていただきます。誠に恐縮に存じますが、お名前をお呼びいたしましたら、ご起立をお願いいたします。

(郵便事業株式会社 武蔵府中支店長 梅影忠二委員
郵便局株式会社 武蔵府中郵便局長 有田健二委員をそれぞれ紹介)

萩原補佐 以上、新委員をご紹介させていただきました。それでは、これより議事に移らせていただきます。会長よろしくをお願いいたします。

野口会長 それでは、府中市防災会議運営規定第3条に基づき、議事につきましては会長であります私が行うこととなっておりますので、皆様のご協力によりスムーズに会議を進めたいと思います。よろしくお願い申し上げます。議事の(1)審議事項の「府中市地域防災計画(平成19年度修正)の素案について」を議題といたします。事務局、説明願います。

萩原補佐 はい、会長。始めに、本日もご審議いただきます審議事項の「府中市地域防災計画(平成19年度修正)の素案」の震災編につきましては、10月22日に開催いたしました当会議の専門部会である地震部会において了承されましたことを、ここにご報告いたします。

それでは、ご説明いたします。この素案は、平成19年7月26日に開催いたしました第1回府中市防災会議においてお示した府中市地域防災計画修正の基本的な考え方(案)にある「府中市地域防災計画修正の背景」「府中市地域防災計画修正の目的」「府中市地域防災計画修正の方針」を踏まえ、作業を進めて参りました。

なお、今後につきましては、本日の防災会議におきまして頂いたご意見のほか、パブリックコメントの実施によります市民の皆様のご意見を参考とし、修正案をとりまとめたいと考えています。

それでは、資料1に基づきまして、ご説明いたします。

(事務局、資料-1に基づき説明)

野口会長 以上で説明が終わりました。何かご意見ご質問はございますか。

横田委員 東京府中競馬場にはG I・日本ダービー等の開催に伴い多くの方が集まります。また、毎年5月に行われる大国魂神社の例大祭にも多くの方が集まります。そのほか、府中刑務所といった特殊な施設もある。そうしたイベント時や施設において、地震等が発生した場合にどういった対処を行うのか記載が

必要ではありませんか。

また、今年9月に台風9号が上陸した際には、小河内ダムの放水量は最初は40t/秒であったが、その後最大で750t/秒にもなった。北多摩一号水再生センターは水位がある一定値まで上がると排水口を閉めてしまう。そうになると、押立地区周辺のマンホールから汚水が噴出し、周辺が汚水まみれになってしまう可能性がある。そうしたことに関する対策等も検討する必要があるのではないですか。

事務局(石阪課長) そうした多くの人が集まるイベント等や施設については、施設管理者・消防署・警察署と今後協議するとともに、パブリックコメント等を実施し、市民の皆さまの意見も踏まえたうえで計画案に反映するようにいたします。

また、多摩川の対策については府中市だけの問題ではないため、市独自の具体的な対応は難しいものになります。しかし、多摩川流域の他の自治体・国・都・関係機関等との協議の場を通じて、計画に盛り込んでいきたいと考えています。

野口会長 他に質問等がないようですので、お諮りします。「府中市地域防災計画(平成19年度修正)の素案について」ご異議ございませんでしょうか。

(異議無しの声)

野口会長 ないようですので、「府中市地域防災計画(平成19年度修正)の素案について」は承認されました。つづきまして、審議事項の「今後のスケジュールについて」を議題といたします。事務局、説明ねがいます。

(事務局、資料-2に基づき説明)

野口会長 以上で説明が終わりました。何かご意見ご質問はございますか。

(質疑なし)

野口会長 質問等がないようですので、お諮りします。「今後のスケジュールについて」ご異議ございませんでしょうか。

(異議無しの声)

野口会長 ないようですので、「今後のスケジュールについて」は承認されました。議題の(2)「その他」ですが、事務局の方で何かありますか。

萩原補佐 平成19年10月30日に、震災時特別非常配備態勢に伴う職員参集訓練を実施します。今年度は、現業部門等を除く全職員を対象としており、また携帯メールの試験的な導入や、初動班活動訓練を兼ねる過去最大級の規模で実施する予定です。

野口会長 それでは、以上をもちまして、本会議の議事は全て終了いたしました。長時間にわたりご審議いただき、誠にありがとうございました。